FURUNO／SHIMANO

# 探見丸

## 取 扱 説 明 書

このたびは、フルノ/シマノ探見丸をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、探見丸同様大切に保存してくださいますようお願い申し上げます。

安全にお使いいただくために …… 2
電源とコードについて …… 3
探見丸システムについて …… 4
システムの設置方法 …… 5
魚探画面と操作ボタンについて …… 8
探見丸の設定 …… 9
対応電動丸と接続された場合の機能 …… 10
お取り扱い上の注意 …… 11
セーフティ機能／仕様 …… 13
製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内／分解図 …… 14
サービスネット …… 15

# 安全にお使いいただくために

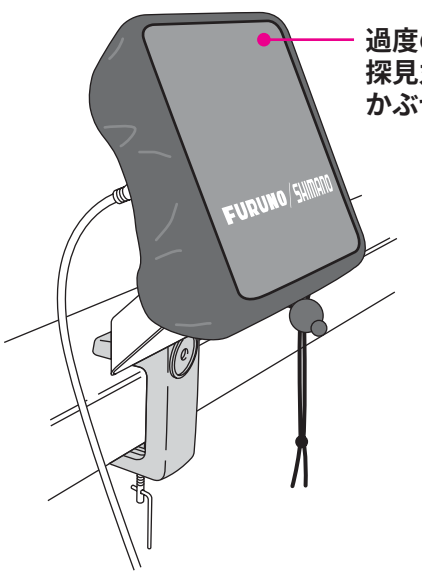
## ● 探見丸を安全にお使いいただくために

探見丸の防水規格は JISC 0920 5級 防噴流形（IEC:IPX5）「いかなる方向からの直接噴流によっても有害な影響を受けない」ですが、水中への浸漬に対する保護機能はありませんのでご注意ください。

探見丸の電源コネクターに海水が入らないよう、船縁設置中は電源コードを抜いたままにしないでください。

又、船縁に設置後の釣り場移動時／釣行の移動時には、付属のカバーをかぶせてください。

過度の波浪/突起物等から本機を守ります。（下図）



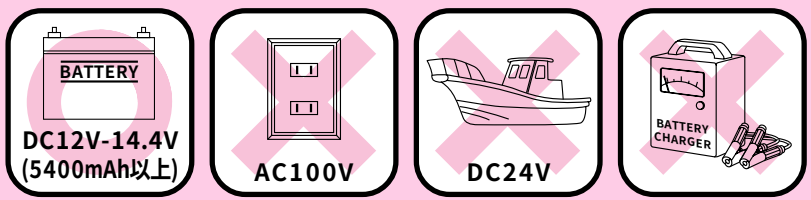

過度の波浪/突起物などから
探見丸を守るため、付属のカバーを
かぶせてください。

# 電源とコードについて

## 1 お取り扱い上の注意

**電源について**

電源は直流（DC）12Vです。公称電圧が12Vから14.4V（リチウムイオンバッテリーなど）までのものをご使用下さい。指定外の電源（たとえば家庭用の交流100V、船装備の直流24Vなど）ではご使用できません。
バッテリーチャージャーなどは絶対に使わないで下さい。




- 船に備え付けの電源を利用される時は、電圧が直流（DC）12Vから14.4Vであることをご確認ください。また、端子がサビていると正常に作動しない場合がありますので、サビを取り除いてご使用ください。
- 十分に充電したバッテリーをご使用ください。
- 釣行後、バッテリーは長持ちさせるためすぐに充電してから保管し、リチウムイオンバッテリーは使い切ってから充電せずに保管してください。そして再度、釣行前に充電してご使用ください。
- バッテリーは長期間使用されますと、次第に、充電できる容量が少なくなります。その場合は、バッテリーのみ新しいものをお求めください。
- バッテリーの電圧が低下している時、電動リールがかろうじて動作しても探見丸は低電圧保護で停止する場合があります。

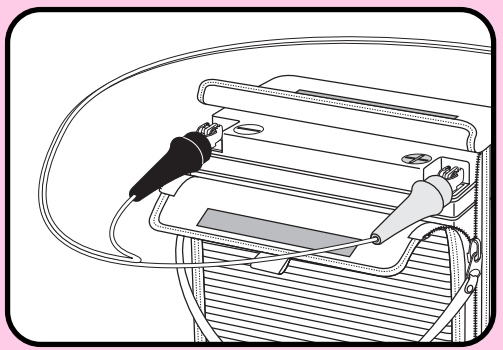
**コードについて**

電源との接続は必ず別売のシマノ純正通信ケーブル/電源コードを用いてください。

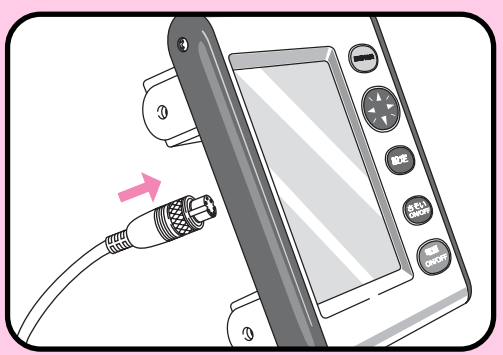
ご注意：純正以外のケーブル/コードを使用されると、探見丸が正常に作動しない場合があります。また、ケーブル/コードは乱暴に扱わないでください。踏んだり、折り曲げたりすると、故障の原因となります。

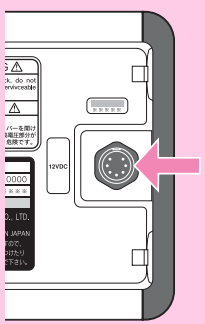
## 2 バッテリーとの接続方法

**1** バッテリーに付属の電源コードを接続してください。
下図のように、赤クリップを（＋）側に、黒クリップを（－）側に、つないでください。



**2** それから探見丸と通信ケーブルもしくは電源コードを接続します。
ケーブル/コードのプラグの凹部と、探見丸の電源のコネクターの凸部を合わせ、奥まで差し込んでネジを締めてください。





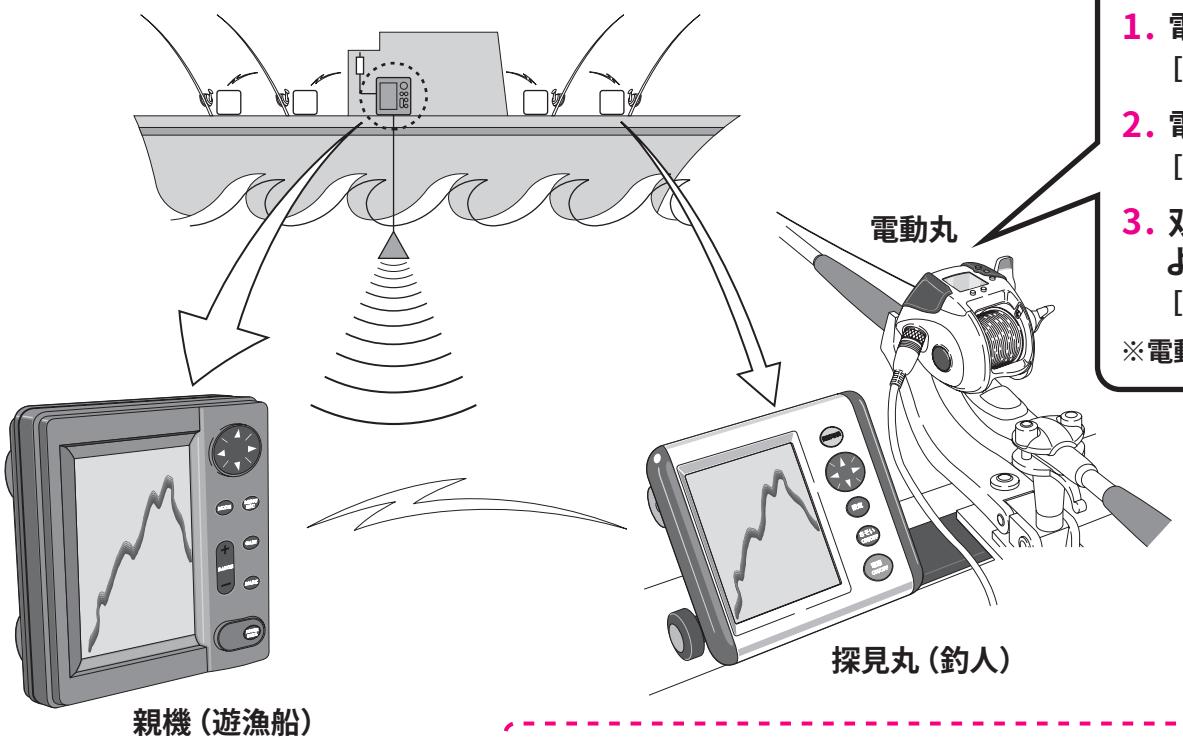
探見丸裏面

# 探見丸システムについて

## 探見丸システム

**親機からの魚探映像を無線でキャッチ。船べりで魚探が見える！**

あらかじめ遊漁船に設置された親機魚探からの情報を探見丸がキャッチ。
釣座に居ながらにして魚探の映像を見ることができる画期的なシステムです。
〔探見丸対応遊漁船につきましては、弊社ホームページ、パンフレット等をご覧下さい。〕
※ご注意　探見丸に映る映像はご自身の位置ではなく、親機送受波器の位置映像です。




さらに探見丸システム対応電動丸と組み合わせることで、
双方向に通信が可能となり、使い勝手が広がります。

1. 電動丸の操作が探見丸で可能に
   ［さそい、棚停止、オートシャクリetc.］
2. 電動丸からのデータを探見丸で表示
   ［リール水深、棚タイマーetc.］
3. 双方のデータを組み合わせて
   より便利な情報を表示
   ［シカケ軌跡、テクニックマスターetc.］

※電動丸の機種によって使える機能は異なります。

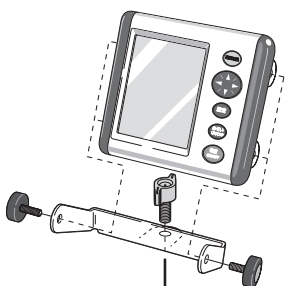
対応電動丸を組み合わせた場合の機能について、詳細は10ページをご覧下さい。

# システムの設置方法

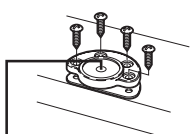
## 1 探見丸の設置方法は釣りのスタイルに応じてお選びいただけます。

目的に合わせて、下記の取り付け器具・コードを選んでご使用ください。

探見丸セット

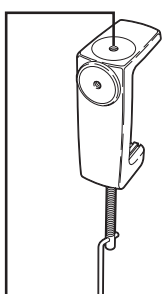


① 探見丸船べりベース
船宿様貸し出しorマイボート位置固定直付け

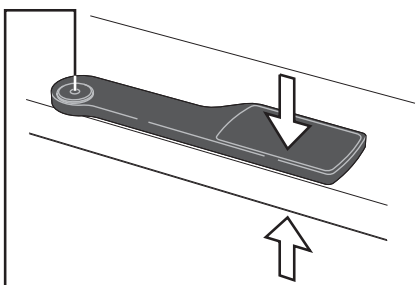


パッキンと共に船べりにネジで固定

② 探見丸固定クランプ
ジギングやカワハギ釣りに

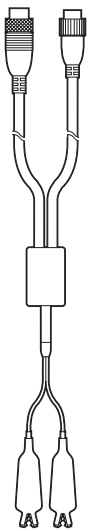


③ 探見丸サイドボード
市販のロッドキーパーを使って固定



ロッドキーパーで船縁に挟み込みます。

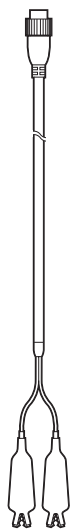
探見丸・電動丸通信ケーブル



DC12V

探見丸システム対応電動丸と繋いでシステムアップする通信・電源ケーブル

探見丸電源コード



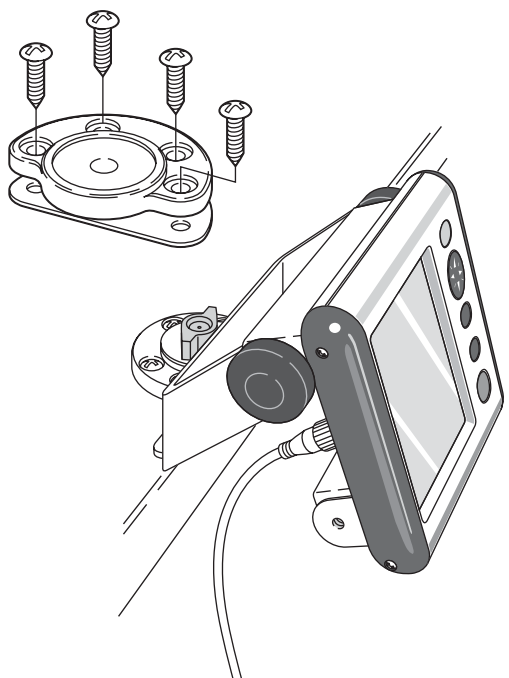
DC12V

探見丸単体で使用する場合の電源コード

●必要に応じて、コード・取り付け器具を別途お買い求めください。

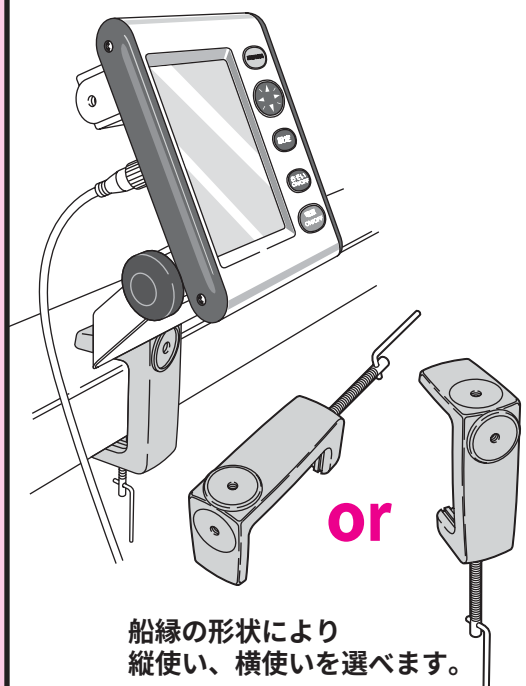
# 2 各取り付け器具の使用方法

## ① 探見丸船べりベース



ベースを船縁の手前側に仮セットし、鉛筆などで取り付け穴の位置4箇所に印を付け、Φ5mmのドリルで穴をあけて、ゴムパッキンを挟んで付属のネジで固定してください。

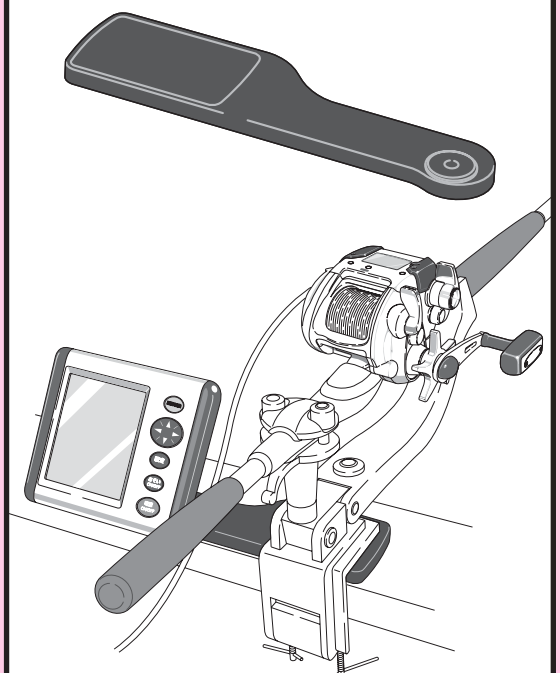
## ② 探見丸固定クランプ




船縁の形状により
縦使い、横使いを選べます。

※ご注意
一旦セットした後、ハンガーをクランプに固定している固定ボルトを緩めずに、探見丸の横方向の取付角度を無理やり調整しますと、固定クランプに緩みが生じますのでお止めください。

## ③ 探見丸サイドボード

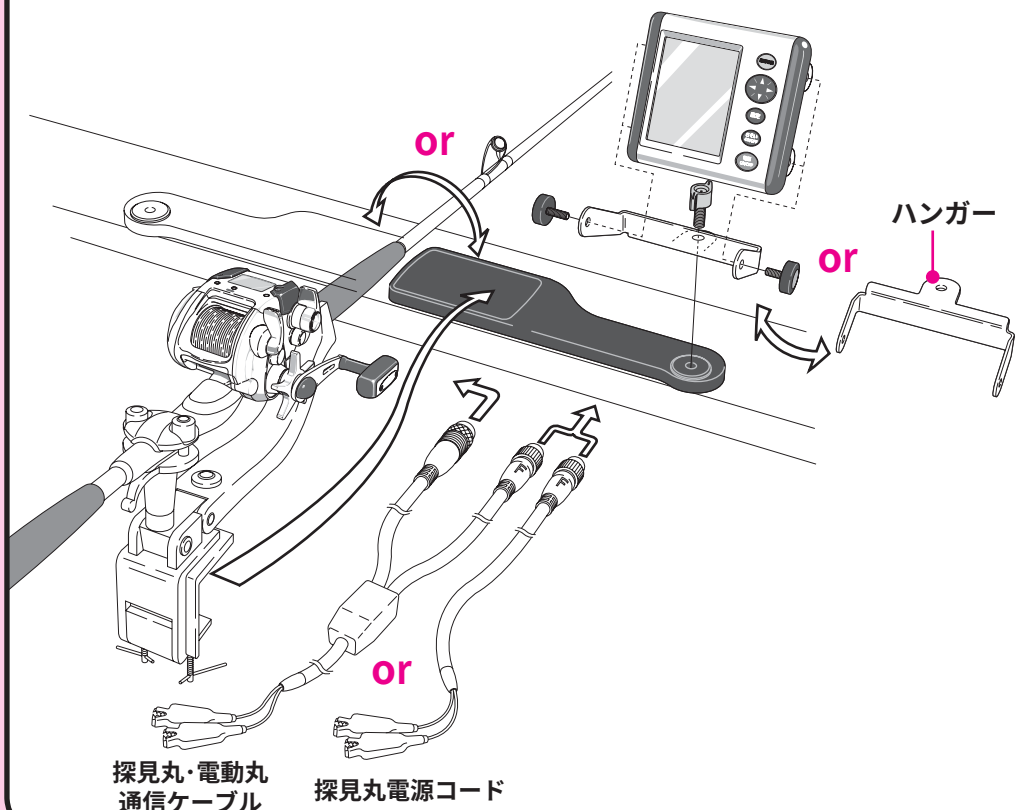


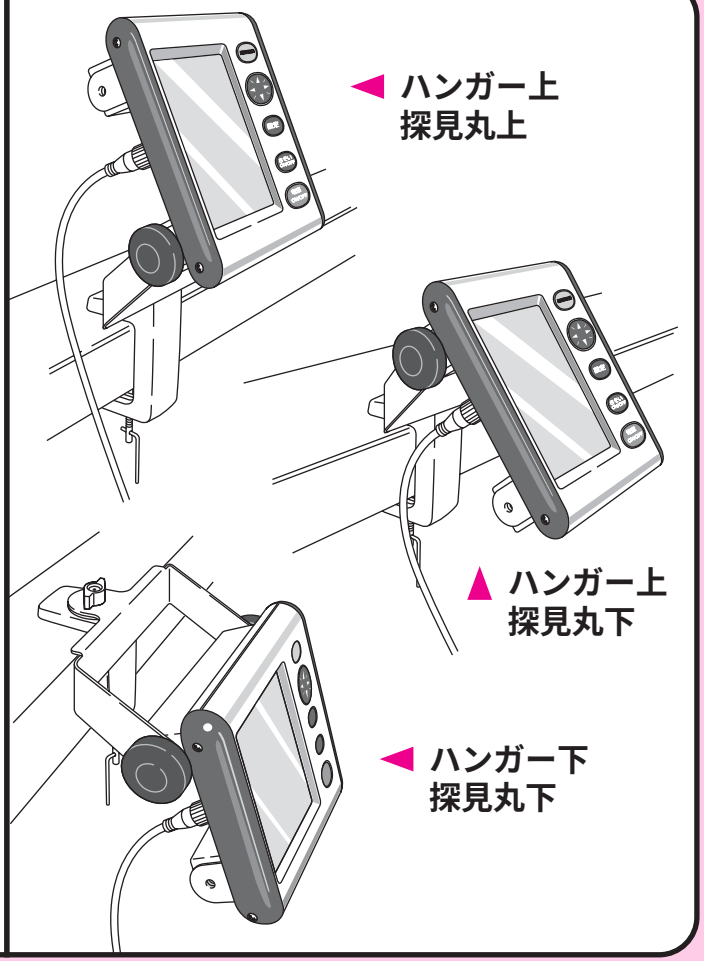
ロッドキーパーで船縁に挟み込みます。
リバーシブルで左右使いが可能です。

探見丸システム対応電動丸と同時にシステムを構成する上での基本ベースです。

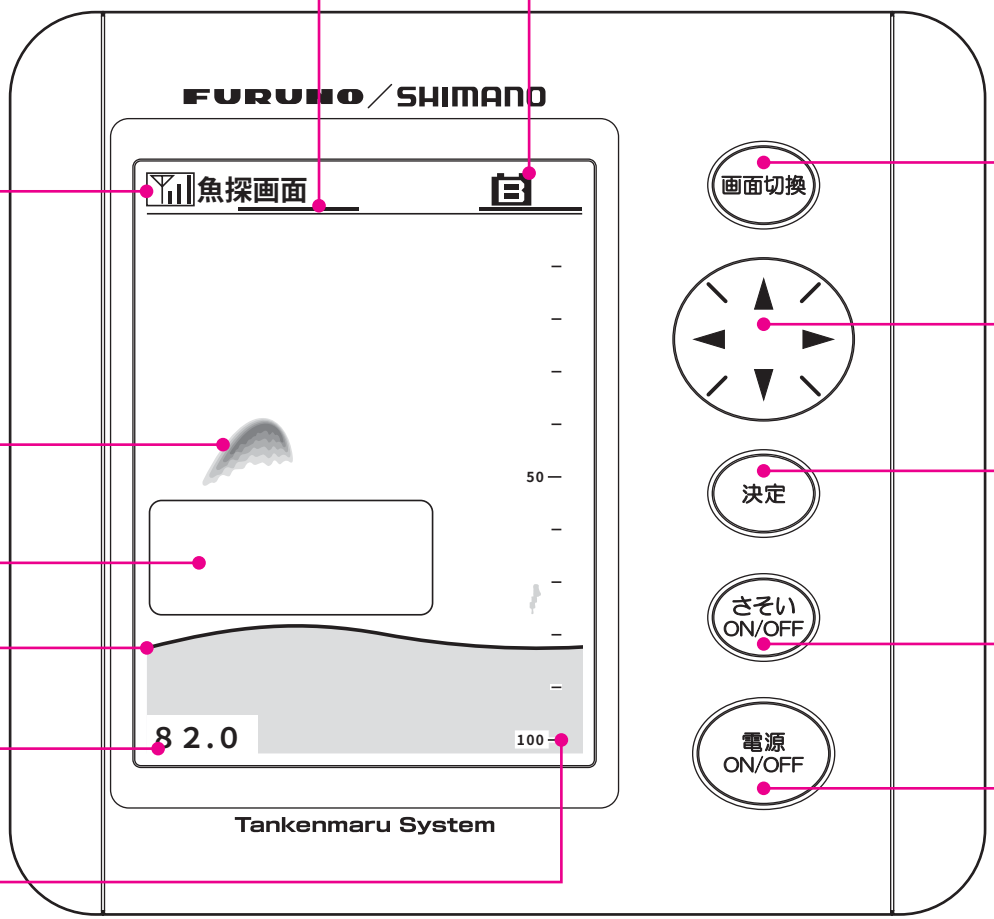
# 3 モニターの取り付け位置をお選びいただけます。

ハンガー/探見丸は、上使い･下使い両用です。
探見丸サイドボードはリバーシブルで左右使いが可能です。
使いやすい位置を自由にお選びください。



# 魚探画面と操作ボタンについて




分時マーク
（1分ごとに2色表示）
1分

親機からの通信が
届いている場合に
点灯します。

魚群

補助説明ウィンドウ

海底

深度（海底水深）

深度目盛

バッテリーが
不足したときに
点灯します。
(10.5V以下の時に点灯)

魚探画面と
メニュー画面を
切り換えます。

メニューの
選択カーソル移動に
用います。

選択したメニューの
設定を実行します。

対応電動丸接続時に
さそいの開始/停止を
行います。

電源のON/OFFを
行います。
ONする時は1秒以上、
OFFする時は2秒以上
押してください。

●図は説明のために必要な表示を全部点灯させています。

# 探見丸の設定

## 画面切換ボタンでメニュー画面を呼び出し、探見丸を設定します。

### 《メニュー画面》

画面切換ボタンを押すと表示されます。
□囲みが現在使用可能な機能とその設定を表しています。図の設定は例として表示しています。

探見丸単体で使用される場合、左図の⑦、⑩～⑫が設定できます。

**⑦ [底拡大]…**

魚探深度の下半分を縦方向に2倍に拡大表示します。

**⑩ [デモ画面]…**

[ON]にするとデモ画面をご覧いただけます。

**⑪ [コントラスト]…**

探見丸の液晶画面のコントラストを調整します。
（10段階）

**⑫ [バックライト]…**

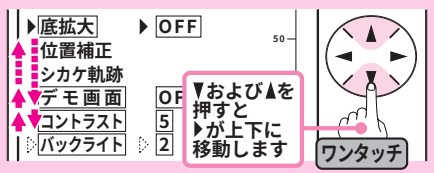
探見丸のバックライトを調整します。
（4段階）

**①～⑥、⑧～⑨は対応電動丸を接続された場合に使用可能となる機能です。**

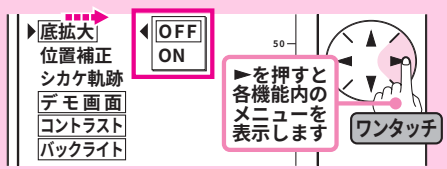
対応電動丸を接続された場合の機能について、
詳しくは次のページをご覧下さい。
対応電動丸の機種によって使える機能は異なります。

**メニュー画面の基本操作**

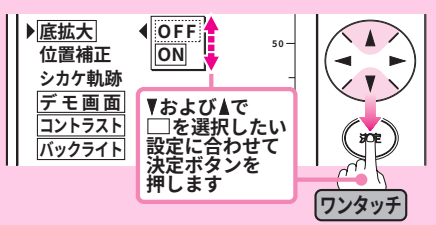
▼および▲を押して▶カーソルを上下に移動させ、設定したい機能の行に合わせます。




►を押すと各機能内のメニューが表示されます。




▼および▲を押してさらに設定を選択します。決定ボタンを押せば設定完了です。



# 対応電動丸と接続された場合の機能

## 対応電動丸と組み合わせることで、使い勝手が広がります!

前ページ《メニュー画面》①～⑨の機能が使用できるようになります。
※電動丸の機種によって使える機能は異なります。

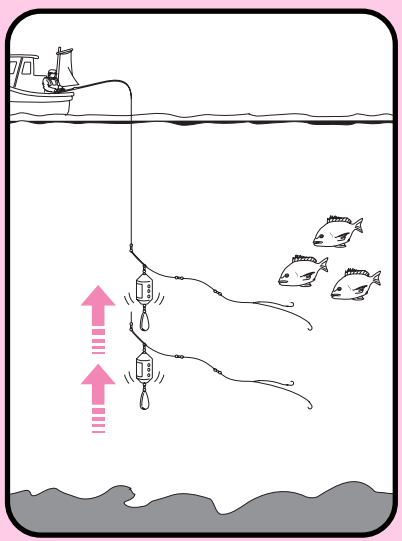
対応電動丸は
このマークが
目印です。

### ②[さそい]…

### ③[さそい幅]…

### ④[オートさそい]…

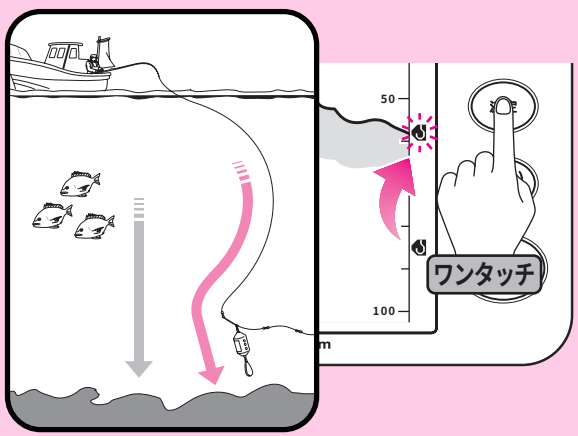
電動丸にさそい動作を再現させることができます。オリジナルのさそいパターンの再現も可能です。
さそい幅の設定、棚停止後に自動的にさそいを開始させるなど、機能を組み合わせて、さらに便利に使用できます!



※イラストはイメージです。

### ⑧[位置補正]…

シカケの水深と魚探画面上の位置を簡易的に同調することができます。
従来のカウンター付きリールが表示する水深は、あくまで巻かれていた糸の放出量であり潮の流れなどで表示水深とシカケの位置にはズレが生じていました。(下図)
探見丸システムではワンタッチでズレを補正。以後、魚探画面上のシカケマークが実際の位置を表示してくれます。

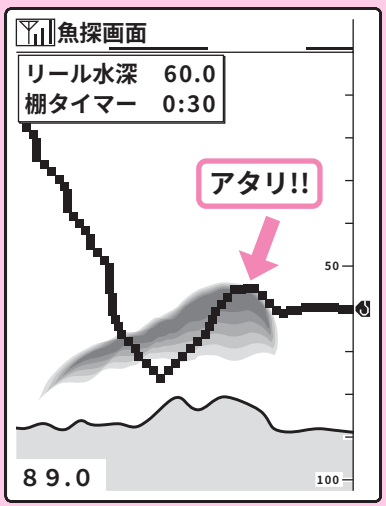



### ①[棚停止]…

メモリーした棚または底の水深でアラーム(電動丸)が鳴り、シカケが自動停止します。

### ⑨[シカケ軌跡]…

シカケの軌跡を表示することができます。どの時点でアタリがあったかなど簡単に把握でき、さそいの目安やコマセタイミング、次回投入時の参考などに便利です。




### ⑤[糸送り]…

### ⑥[上底切替]…

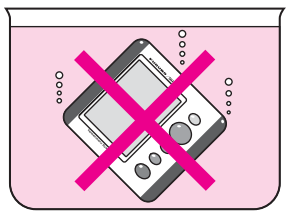
電動丸の自動糸送り機能、水深表示の切替機能(上から〔水面から〕または底から)のON/OFFが、探見丸からも操作可能です。

# お取り扱い上の注意

探見丸は、精密部品で構成されていますので下記注意事項を守ってお取り扱いください。また、釣行後の手入れを十分行ない、末永くご使用ください。

## 1 探見丸のお手入れ方法

1. 水道水を探見丸にかけながら柔らかい布か、スポンジで汚れを落とします。
   ※絶対に水中に浸けて洗わないでください。また、液晶面などを硬いものでこすると傷がつきます。
2. 影干ししてよく乾燥させてください。



絶対に水中に浸けて洗わないでください。

●探見丸は絶対に分解しないでください。内部には電子部品が入っていますので故障の原因となります。

●高温、高湿の状態で長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、上記の手入れを実施後、風通しの良い場所で保存してください。

### ⚠ 注 意　洗剤を使用しないで下さい。

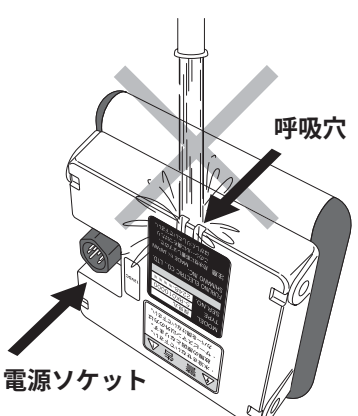
●探見丸のお手入れは、水道水をかけながら柔らかい布かスポンジで汚れを落として下さい。
又、絶対に水中に浸けて洗わないで下さい。
くれぐれも水道水以外での洗浄はしないで下さい。

●洗剤を使用しないで下さい。
探見丸裏面、呼吸穴内部にある通気シートに洗剤が付着しますと、撥水性が低下し、水を通し、故障の原因になります。

●逆さまにして洗浄しないで下さい。
逆さまにして洗浄しますと、呼吸穴が塞がれ、探見丸本体が熱くなっていた場合、水を吸い込む恐れがあります。

●電源コードを抜いた状態で、電源ソケット部分に水圧を掛けて洗浄しないで下さい。
浸水する可能性があります。

逆さまにして、呼吸穴に直接水をかけないで下さい。




## 2 ご使用上の注意

1. 防水
探見丸の防水規格は JISC 0920 5級 防噴流形（IEC:IPX5）「いかなる方向からの直接噴流によっても有害な影響を受けない」ですが、水中への浸漬に対する保護機能はありませんのでご注意ください。

2. 落下
落下させますと、故障する場合があります。
落下させないでください。

3. 衝撃
錘や仕掛けを当てると破損する場合があります。
錘や仕掛けなどは当てないようにしてください。

4. 荷重
液晶面に力を加えると、防水機能が低下し、故障の原因となることがあります。液晶面には力を加えないでください。

●探見丸システムでは、親機の探知性能以上の水深の場合や、泡切れで親機が海底水深をキャッチできない場合があります。また、大魚群を海底と誤ってしまう場合があります。この時には水深情報を利用する各機能が使えないことになりますのでご注意ください。

●探見丸では魚探映像の感度、レンジの変更は行えません。

●探見丸は無線電波を受けているため、金属の箱などに入れると受信できなくなりますのでご注意ください。
探見丸は電波法に基づき開発された製品です。

●探見丸はていねいに扱ってください。移動時には付属のカバーをかぶせて、特に放り投げやバッグ内で他の道具との接触による破損には十分ご注意下さい。

●探見丸後部及び通信ケーブル/電源コードに衝撃を与えないよう、また、コードを折り曲げないようご注意下さい。特にコードを探見丸と船べりの間にはさまないようご注意下さい。

●LCDの表面は傷が付きやすいので、画面をふくときは十分に注意してください。

●偏光グラスの種類によって液晶画面が見にくくなる場合があります。

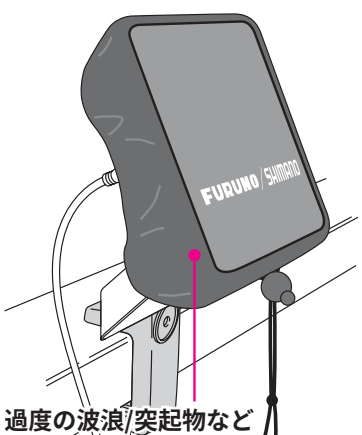
（次ページにつづく→）

●使用中に画面表示が消え電源OFFの状態になった場合は、電源ON/OFFボタンを押していただきますと再起動いたします。
これは、電源コードのワニ口クリップに力が加わったり、船電源の極端な電圧変動により、瞬間的に通電が遮断されたことが考えられます。この場合、探見丸の機構はOFFになる設定で、再度電源をONにする必要があるからです。

●ご注意
船長の指示棚は絶対に守りましょう!!
画面上に指示棚以外にも反応が映っているからといって、勝手に大きく棚を変えるのはルール違反です。
船長の指示棚は、長年の経験から導きだした、その場の状況に応じた最適な情報なのです。
自分勝手に大きく棚を変えると、他の釣客とのオマツリや魚を散らす原因になるなど、トラブルの元です。絶対にやめましょう!!

## 3 探見丸を安全にお使いいただくために

●探見丸の防水規格は JISC 0920 5級 防噴流形（IEC:IPX5）「いかなる方向からの直接噴流によっても有害な影響を受けない」ですが、水中への浸漬に対する保護機能はありませんのでご注意ください。
探見丸の電源コネクターに海水が入らないよう、船縁設置中は電源コードを抜いたままにしないでください。又、船縁に設置後の釣り場移動時/釣行の移動時には、付属のカバーをかぶせてください。過度の波浪/突起物等から本機を守ります。（右図）



過度の波浪/突起物などから探見丸を守るため、付属のカバーをかぶせてください。

# 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

## ⚠ 警 告

| | |
|---|---|
| | ●カバーケースは絶対開けないこと。<br>感電の原因になります。<br>故障の場合は、お買い上げ先へ連絡してください。 |
| | ●分解・改造等は絶対しないこと。<br>火災、感電、ケガの原因になります。 |
| | ●発煙、発火のときは、ただちに電源ケーブルを外すこと。<br>火災、感電の原因になります。 |
| | ●電源/通信ケーブルは規定のものを使うこと。<br>規定外のものを使った場合、重大な事故や火災を引き起こす原因になります。 |

警告ラベル
探見丸には、右図のような警告ラベルが貼ってあります。
警告ラベルは絶対にはがさないでください。
また、汚れてメッセージなどが見にくくなった場合は、古野電気（株）までご連絡ください。

名称： 警告ラベル
型式： 02-149-1022
コード番号： 100-319-320

**⚠ 警 告 ⚠**
・水没させないで下さい。
故障の原因となります。
・サービスマン以外の方はカバーを開けないで下さい。

液晶パネルについて
液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上が有効画素ですが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素が存在します。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

# セーフティ機能／仕様

## 4 セーフティ機能

次の場合、補助説明ウィンドウに図のように表示されます。

●親機からの信号がない場合

親機からの信号がきて
いません。

●電圧が高すぎる場合

ＤＣ２０Ｖ以上の電圧がかかると下図のように表示されます。２４V以上になりますとセーフティ機能が働き、強制的に液晶をOFFにします。

電圧が高すぎます。
電源を確認して
ください。

●リールのブレーカが作動している場合（電動丸接続時のみ）

リールのモーターに過負荷がかかり、ブレーカーが働いている場合に表示されます。

ブレーカー作動中です。

## 5 仕様

| | | |
|---|---|---|
| 品番 | 探見丸 | |
| 製品コード | RK010000 | |
| 商品コード | 01872 | |
| 自重 | 約590g（本体のみ） | |
| 消費電力 | 約2～2.5W | |
| 表示画面 | 5型モノクロLCD<br>72mm(W)×96mm(H)<br>240×320ドット | |
| 受信周波数 | 426MHz帯の1波 | |
| 伝送速度 | 最高4800bps | |
| 電源 | DC12V～14.4V、0.2A（12V時） | |
| 環境条件 | 使用温度範囲 | -15℃～+55℃ |
| | 相対湿度 | 93%以下（+40℃） |
| | 防水 | JIS防噴流形（IEC:IPX5） |
| | 振動 | IEC60945 |
| 標準付属品 | ハンガー×1、ハンガーノブ×2、蝶ネジ×1、ソフトカバー×1、保証書、取説 | |

# 製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内／分解図

## 6 製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

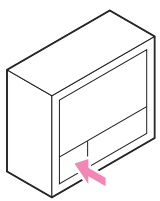
探見丸のメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。
手紙での問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

●修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に（例／電源が入らない）お知らせください。
また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所・本社（フリーダイヤル）へお問い合わせください。
修理費は部品代のほか作業料をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。

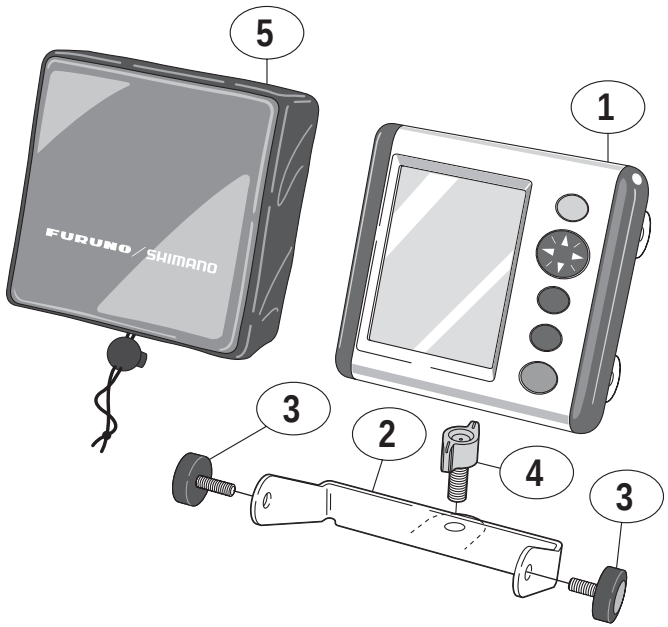
●紛失部品や破損部品のお取り寄せは分解図をご覧いただき、製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、ご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですので本体ごと修理に出して下さい。

例／製品名　　：探見丸　　商品コード：01872
　　製品コード：RK010000　部品番号　：2
　　部品名　　：ハンガー

●商品コード/製品コードの位置
取扱説明書・パッケージ側面部・製品背面部ステッカー



## ■分解図




## ■パーツリスト

| 番号 | 部品名 |
|---|---|
| 1 | 本体 |
| 2 | ハンガー |
| 3 | ハンガーノブ |
| 4 | 蝶ネジ |
| 5 | ソフトカバー |

※部品内容について予告なく変更する場合があります。（160213）

# サービスネット

## 株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ　北海道営業所
〒001-0034 札幌市北区北34条西10-6-21 TEL.(011)716-3301

株式会社シマノ　仙台営業所
〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10 TEL.(022)232-4775

株式会社シマノ　埼玉営業所
〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1 TEL.(048)772-6662

株式会社シマノ　東京営業所
〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17 TEL.(03)3744-5656

株式会社シマノ　千葉営業所
〒284-0045 千葉県四街道市美しが丘1-30-11 TEL.(043)433-1780

株式会社シマノ　静岡営業所
〒410-0807 静岡県沼津市錦町674 TEL.(055)962-3983

株式会社シマノ　名古屋営業所
〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21 TEL.(052)331-8666

株式会社シマノ　大阪営業所
〒590-8577 大阪府堺市老松町3-77 TEL.(072)223-3920

株式会社シマノ　中国営業所
〒700-0941 岡山市青江6-6-18 TEL.(086)264-6100

株式会社シマノ　四国営業所
〒768-0014 香川県観音寺市流岡町1496-1 TEL.(0875)23-2220

株式会社シマノ　九州営業所
〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6 TEL.(0942)83-1515

● 探見丸システムに関するお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-651130 受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00（土・日・祝祭日除く）
● 商品の性能、スペック、カタログ、イベントや、商品の修理、パーツなどアフターサービスに関するお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-861130（ハローイイサオ）受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00（土・日・祝祭日除く）
シマノホームページ　アドレスは http://www.shimano.com です。
● シマノならではのオリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。

古野電気株式会社　〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9番52号　TEL.(0798)63-1092・1097
フルノホームページ　アドレスは http://www.furuno.co.jp です。

株式会社シマノ釣具事業部　本　社：〒590-8577 大阪府堺市老松町3丁77番地　Printed in Japan 029

この説明書は再生紙を使用しています。

FURUNO / SHIMANO

(040528)